

5/21/2015

日光バスツアー実習 (旅程管理研修を含む)



美しい五月晴れの中の日光現場研修でした。ランデル洋子先生、松岡明子先生、旅程管理の亀井ゆかり先生、スタッフの青井千里さんと 37 人の向学心溢れた受講生を乗せたバスは、ベテランの長野運転士の運転で東北自動車道を一路日光へ。車中では、まずランデル先生の華とユーモアに溢れる話術のガイドデモを披露していただいた。眼に飛び込んでくる景色から豊かに話題を展開し、いかにお客様を飽きさせないかのヒントをいただいた。次は、松岡先生から流暢な日光の説明を伺う。



東照宮ではランデル組と松岡組に分かれての実習。見どころの多い東照宮での説明ポイントを教えられた。当代一流の職人の手になる彫刻の数々は、今もなお私達に訴えかけてくるものがあり、是非「いつかこの素晴らしい遺産と家康公の意志を外国のお客様にお伝えしたい」というガイド魂に火が付いた。その後は坂をクイズの答えを探りながら快適に上り、中禅寺湖畔のレイクサイドホテルにて、ランチはチキンのコース料理。



昼食後は、日光のもう一つの見どころ、自然美観賞のために龍頭の滝と華厳の滝を訪れ、いつの間にか朝は会社一と紹介された運転士はそのうちにアジアとなり、ついには宇宙と称賛されて帰路に着いた。お天気を始め、全てに恵まれ、完璧を嫉妬する悪魔に妬まれそうな素晴らしい一日となった。日光研修の記念に一句。

『若葉降る 麗しの宮 日光は 猫はまどろみ ホトトギス鳴く』

(スタッフ: 青井千里、レポーター: 川寄磨理子)

アンケート抜粋

●ネットで調べて自分では勉強はできなかったと思っていたが、先生の暖かさ、思いやり、ユーモアが含まれていることに感服(A.I) ●自然と人工建造物の美しさが日光の魅力だ。(A.K) ●織田、豊臣、徳川の話がとても参考になった(J.M) ●亀井さんのポイントを絞ったアドバイスがとても分かりやすい。(M.Y) ●顔の向け方、手の動かし方、歩くスピード、声の出し方等が学べた。(T.S) ●校倉造の説明、数字の覚え方が役立った(N.S)

一口メモ

1. 車窓を通り過ぎる景色からどう話を膨らませてゆかがポイント。
2. 東照宮では、神仏習合、平和のシンボルと照大権現、そして秀逸な彫刻とそれが意味するところが説明できると理解が更に深まる。
3. バス旅行を刺激的なもの、能動的なものとするために、クイズなどを設けて旅のカンフル剤とする。また時折のユーモアがとても効果的である。

4/6/2015

鎌倉・箱根バスツアー実習 (旅程管理研修を含む)



明け方の雷雨が一転、青空の下、バスは新橋第一ホテル東京を出発。ランデル先生、松岡先生、谷田先生、旅程管理指導の亀井ゆかり先生、スタッフ長野さんに加え研修生39名(内18名が旅程管理実習)の総勢43名。ランデル先生の楽しいお話やクイズコーナー、亀井先生のシートベルト、行程表の確認から始まり、いざ鎌倉へ。

谷田先生は後ろに目があるのでは?と思うほど絶妙なタイミングで車窓景色を説明。お台場の「開国」説明は全体から詳細に。当時の幕府があらゆる階層の人々に意見を求め、中には「日本には大きな鬼がいるぞ」と言ってみては?という案も出たという、当時の人々の黒船に対する驚愕ぶりがありありと伝わってきました。わずか 100 戸の横浜村に港が開かれた経緯や生糸貿易の話が出ました。高德院では松岡組と谷田組に分かれ、大仏の製造法や、奈良の大仏との材料、お顔の違いなどが興味深かったです。長谷のうどん屋さん「千代仁」の前田さん(GICSS 会員通訳案内士)より、「ガイドは大変だけど、締めを制する大切な役目だから頑張ってください。」との激励されました。きらめく海と江ノ電、江の島、江の島水族館を通過し、昼食はかまぼこの里・鈴の音ホール。メニュー説明と頂き方を松岡先生が効果的に説明されました。

箱根関所跡、芦ノ湖遊覧、箱根園、成川美術館、最後は箱根寄木細工の発祥の地、畑宿「浜松屋」の7代目当主石川さんに材料や複雑な模様の作り方を説明して頂き、お土産の栗まで頂きました。各先生方のモデルガイディングに聞き惚れつつも、谷田先生の次の言葉に腰を据えて少しずつ自分を磨こうと思いました。:「自分の驚きを相手に伝える事も大切」、「今出来ることからガイドをし、あまり当初から抵抗感を持たない事。」大涌谷に行かなくても、ロープウェイに乗らなくても楽しめた箱根の新発見もありました。先生方、長野さん、ずっと前から準備いただいた事務局の皆さま、有り難うございました。

(スタッフ: 長野雅子、レポーター: 山ノ内昌子)

一口メモ

1. 高德院では「仁王」「阿吽の話」「お浄め」など共通のテーマを話してあげると良い。なぜ日本人には宗教心があるかも外国のお客様には興味がある。鎌倉の大仏は4.5メートル離れて見上げた時につらさが取れてみえるように頭を大きめに作ってある。奈良の大仏様より目の切れ込みが深い。
2. 箱根関所跡入口付近に明治時代の当時の様子の大きなセピア色の写真プレートがある。このプレートを使い「想像力」を働かせて当時の旅人や宿場町のお話を展開させることができる。

アンケート抜粋

●書かれた資料以外では知りえないスポット情報がきけいよかった。(T.S) ●寄木造りの高い技術に驚いた(N.K) ●バスの中での過ごし方がとても参考になった。 ●成川美術館の景色が何にも変えられないほど美しかった。(N.H) ●谷田さんのガイドに感動(M.I)

3. 日本画に使う岩絵の具は何年経っても変色しない。色は全部で約2万色。大変高価なものからプロでも50から300色しか持っていない。一つのから7から15色作れる。例えば群青色なら粒子が粗いほど色が濃く、細かいほど薄くなる。



研修名・日程・会場等	内 容	座学 CC.(チャレンジャーサークル) (東京)
異文化コミュニケーションスキル研修 (東京) 7 月 16 日(木) 9:30～16:30 参加費: 会員 10,800 円、一般 16,200 円 会場: 代々木青少年オリンピックセンター	通訳ガイド業務に欠かせない異文化コミュニケーションの技術の基本を徹底的に押さえ、ガイド現場に活かせる言語 & 非言語コミュニケーションの受信・発信スキル、トラブル解決法原則、風習マナーなどを学びましょう! (講師: ランデル洋子)	(詳細は別途: 参加費 2,160 円) 7 月 4 日(土) 10:00～12:00 テーマ「新幹線」ナビゲーター: 松岡明子 9 月 5 日(木) テーマ「FIT の東京観光」ナビゲーター: 千田直子
国際接遇プロトコル基礎研修 (東京) 7 月 17 日(金) 9:30～12:30 参加費: 会員 5,400 円、一般 8,100 円 会場: 代々木青少年オリンピックセンター	国際儀礼の基本、挨拶、敬称、序列と配席、パーティ、贈り物ほか、イザという時の為を知っておきたい知識と心得を学びましょう! (講師: ランデル洋子)	座学 CC.(チャレンジャーサークル) (大阪) (会場とよなかすてつ) 8 月 1 日(土) 9:45～11:45 (午後 懇親会あり) テーマ「米」ナビゲーター: 田村聡子 8 月 22 日(土) 13:00～15:00 テーマ「清水寺」ナビゲーター: 福井ミッキー年間 1,000 万人が訪れる清水寺の魅力に迫ります 9 月 26 日(土) 13:00～15:00 テーマ「金閣寺」、ナビゲーター: 久保田郁子
人気沸騰・日本のアート BASICS (東京) 7 月 17 日(金) 13:30～16:30 参加費: 会員 4,860 円、一般 7,290 円 会場: 代々木青少年オリンピックセンター	日本のアート概況、各地のアートシーン、ジャンルの大まかな分類知識、外国人が求める東京のアートスポット、エリアや訪問先に関する基礎知識を学びます。 (講師: 近代アート研究科 日下園美)	★★★★★ 大阪の CC は、ジェネラルトピックスを交えて、関西地区の主要観光地を網羅し、約 2 年間で基礎がマスターできるプログラム構成となっています。是非ベテランガイドによるナビゲーションを利用して、基礎地域情報やスキルをマスターしましょう。
ガイド現場での IT 活用法 (東京) 7 月 18 日(土) 13:30～16:45 参加費: 会員 3,240 円、一般 4,860 円 会場: 代々木青少年オリンピックセンター	① 携帯・タブレットをもっと使いこなそう。現場で素早く役立つ情報の入手法をご紹介します。ご自身の機器をご持参下さい ② 世界から受注: TripleLights への登録法と運用法もご紹介します。 (講師: トラベリエンズ橋本直明)	浮世絵と日本橋研修 (東京) 9 月 18 日(木) 家康と共に駿河から江戸入りした浮世絵版元 16 代目吉田誠男氏による講演と松岡明子講師日本橋歩き。詳細後日、ご期待あれ!
江戸東京博物館徹底研修 (東京) 8 月 20 日(土) 13:30～17:00 参加費: 会員 6,960 円、一般 8,904 円 会場: 代々木青少年オリンピックセンター	学芸員から学ぶ江戸博! 江戸から東京へ。変貌過程を、時には詳しく時にはコンパクトにご案内できるようにする源は江戸東京博物館にあり。 (講師: 江戸博学芸員 松井かおる)	
関東新人歓迎懇親会 (東京) 7 月 26 日(土) 会場: 清澄庭園 10:30～14:00 庭園見学と懇親会 新人会員 3,000 円、一般会員: 3,500 円	関西新人歓迎懇親会 (大阪) 8 月 1 日(土) 会場: 大よし 13:00～15:30 懇親会(先輩の皆様も奮ってご参加下さい。午前 CC 有り) 新人会員 3,000 円、一般会員: 3,500 円	

★★★★お申し込みは HP の URL から

GICSS 会員がつなく、リレーエッセイ

リレー ESSAY

③③



「沖縄へ行ってみませんか?」4 月のある日、突然のお電話がありました。一週間後にヨーロッパのクルーズ船が沖縄に寄港し、寄港地観光が予定されているとのこと、ドイツ語ガイドを募集していたのです。2012 年に資格を取得、本格的に仕事に就くようになったのが昨年秋からの私にとって、大型バス一台を担当、しかも場所は沖縄! ということで、多少返事には躊躇いたしましたが、あくなき冒険心の下、引き受けることにしました。準備期間は切迫しておりました。訪問箇所のリストはあるものの、具体的にどのコースを担当するかは、船内での申込期間が直前の為、ガイドにも直前に知られるとのこと。観光地情報はインターネットや資料でもある程度得ることが出来ましたが、ガイドングの際重要な施設の誘導の動線が分かりません。その為、沖縄で現地受けの添乗員として勤務していた友人に、レクチャーをお願いし、喫茶店で 3 時間みっちりレクチャーを受けました。また、一日早く現地入りしていたイタリア語ガイドの友人からも、資料や情報を頂きました。有難くて涙が出そうでした。

乙津 裕子 (東京)

会員の皆様、いじわるは!

私は大学でドイツ語を専攻し、その後子育てで多少のブランクはあるものの、2010 年まで理化学系研究機関の秘書として勤務しました。国際会議設営業務等を通して旅行業に興味を持つようになり、退職後ハローワークの職業訓練を通して都内の旅行専門学校に通い、旅程管理主任者(総合)、総合旅行業務取扱管理者資格を取得しました。当時の学友とは今も交流があり、観光地情報や、最近では国内ツアーでも増えてきているインバウンド対応等で活発に情報交換しています。

さて、クルーズ船のお話に戻しましょう。37 台の大型バスのうち 16 号車を担当、44 名のお客様と一緒に平和祈念公園、沖縄県立博物館、国際通りを巡りました。沖縄の歴史、文化、沖縄戦の話等、バス内トークの話題は盛り沢山、また日本は初めての方が多く、沖縄の地図を指さして「東京はどこですか?」と聞かれる一幕も。南部戦跡を巡るコースをご一緒したこと、先の戦争で同様に辛い経験をされたドイツの方々、深い心の交流が出来たような気がしています。ツアー後クルーズ船に戻られるお客様と一人ずつ握手をしてお別れする際には、感動で胸が一杯になり、この仕事の魅力を改めて実感しました。ライトアップされた美しいクルーズ船の前に、苦勞を共にした友人と撮った写真が私の宝物です。



新人実務研修会 大阪 Cコース：5/2～5

生き方モデルとホスピタリティ

“やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ…” 山本五十六の言葉を彷彿とさせる研修でした。努力と経験に裏づけられた息を呑むモデルガイディングの提示、そこへ辿りつくためのポイントをおさえた言語的な解説、それを体験させ、丁寧に観察し、改善点を指摘するにとどまらず、良いところをしっかりと評価し、持ち味を強化して向上心を高める。GWの4日間はまさにこの体験の連続であり、その結果として自分にもたらされた変化や成長をしっかりと自覚することができました。講師の先生方、運営スタッフ、そして受講生の皆さんのお蔭です。心より感謝申し上げます。

特に印象に残ったことは？

講師の先生方のホスピタリティーに他なりません。心が豊かで、与えられるもので溢れているからこそその在り方には深い感銘をうけました。自信と誇り、愛と情熱をもって天職にとりくむ姿勢。私にとって、それはめざす生き方のモデルでもあります。一体どうしたら実現できるのか？そこに自分なりの思考をめぐらすことができたのも、この研修における大きな収穫のひとつでした。

人を幸せにする豊かな精神を育むためにも、まずは体力と知力を鍛えたく早速、今夏から関西C.C.への参加を決めたところです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
(レポーター：勝部奈美)

アンケート抜粋

●発表練習すると身につくことがよくわかった。(K.H) ●参加型のワークショップが大変役に立った。(K.H) ●旅程の重要性を再認識しました。(I.A) ●実習が一番緊張感があり面白かった。(T.N) ●声の出し方、アイコンタクト、話すスピードを指摘いただき、ためになった。(T.S)

講師の感想

●他の人のプレゼンを聞いて、自分のものにして向上心を持つ方が多かった。
●英語をしゃべり慣れていた事前準備をしっかりして発表にのぞむ方が多かった。
●学びたいという意欲が強く感じられた。

鉄は熱いうちに打て

試験に合格したものの、サラリーマンですぐにガイド職に就けないのですが参加を決めました。東京で受講済の方もいる中、研修についていけるか、他の受講生の足を引っ張りたくないかと不安な気持ちでした。

実地研修で私がアサインされたのは、金閣寺の池の前の撮影スポットと平安神宮の手水舎でした。前日ファミレスにこもって準備をしたのですが結果は惨憺たるものでした。いざ現場での模擬ガイドを始めると金閣寺では建物の説明をすっ飛ばして庭の説明をしてしまい、平安神宮では説明だけで実演が抜けてしまいました。

それでも皆の前で大きな声で案内をしてみると、「もっとやってみて！」「さっきのパートにこの説明を付け加えたかった！」と、初日の不安が嘘のように消えていました。稚拙な案内ではあっても、親切丁寧に指導して頂いた講師の忍耐強さと、同じ志を抱いた仲間を支えられたおかげだと思います。受講生同士は研修が終わってから連絡を取ってその後の活動を報告し合っており、同期の仲間として今後も励まし合いたいと思います。
(レポーター：西村大河)

新人実務研修会 東京 A&Bコース：3/7,8,13,14,15 Dコース：4/11,12,18,19

英語漬けにして追い込んだ充実感

苦しかったけど、ロールプレイ実習が多く、非常に充実していて楽しく良かったです。ランデル先生、松岡先生、先生方、ありがとうございました。Eクラスでご指導いただきました江原先生、大変お世話になりました。私は現在サラリーマンゆえ、直ぐに転進するかどうか未定でしたが、なるべく早目に色々と研鑽していこうと思いAコースを受講しました。

多くの刺激発奮

英語が出来る方々の中で自分が非常に鍛えられたと思います。同級生のプレゼンを聞く事により自分の英語がいかに中途半端かを知らされる事となり、「まだまだだな」と自分自身を奮発させる良い機会でした。



また接客接遇の仕方等も学ぶ事ができ、あっという間に時間が過ぎていく充実の時間でした。他の受講生の振る舞いを見て多くの刺激を受け、参考にもさせていただきました。



コンペスタイルのロールプレイ実習では私は“1回戦敗退”でしたが、壇上に立たれた皆さんの英語力＋プレゼンパフォーマンスは素晴らしいです。次、私が同じ話をする時はここをこう言おう、と、勉強になりました。

ガイド体験で今後の軌道修正？

バス実習の現場(明治神宮、浅草)でのガイド実体験では、少しでも早く外国人のガイドをしたい、という気持ちが強くなりました。私にとって、これが今回の大きな成果です。これから先の事を少し軌道修正していきたく(ガイドとしてデビューするのを前倒しする)、人に伝える英語力、日本文化知識力、おもてなし力、これらの道を極めながらガイドへの転進を早めるべく、GO！

(レポーター：高丘 毅)

東京 座学C.C 庭園 5/9

あちらこちらで鮮やかなツツジが花盛りの中、千田直子さんをナビゲーターに10名の参加者が集いました。1分間の自己紹介の後、「日本庭園」をテーマに2分間のプレゼンテーションが披露されました。

日本庭園特有の枯山水や大名庭園について話された方、具体的なお自分のお気に入りの庭園について話された方などいっしょになって、吟味された表現で興味深い内容の本番さながらのガイディングが次から次へと繰り広げられました。他の人のガイディングは仕事場では聞くことができません。貴重な機会なのです。

日本庭園の要素である池、花、石、鳥、等々について、それぞれ話せることを用意しておけば初めて訪れた庭園でもある程度はそのままガイディングができます、とお話がありました。なるほど！です。千田さんのリードのもと収穫の多い有意義な2時間でした。
(ナビゲーター：千田直子、レポーター：長野雅子)

大阪 座学 C.C 数字と統計を使ったガイディング 5/2



新人研修期間中でもあり、ランデル先生、松岡先生も参加されました。

数字羅列だけでは心伝わらず。でも数字があれば心から納得してもらえます。

数字を使うことで話がずいぶん具体的になりますね。

お客様が使い慣れた単位を使う、イメージしやすい数字にする、など実際のアドバイスもいただき、充実した CC となりました。

(ナビゲータ: 福井道孝、レポーター: 西 順子)

<抜粋ご紹介>

- ◆ JR のリニア実験線が世界最速の時速 600 km を記録。一方、東海道新幹線では、開業以来 50 年間で死亡事故は 0 件と安全性が抜群に高い。
- ◆ 下鴨神社の式年遷宮にかかる費用は 30 億円(補助金 8 億、募金 10 億で、まだ 12 億が不足)。昨年の伊勢神宮は 570 億円と桁違いに多い。
- ◆ 京都市民は全国で一番パンを食べる。
- ◆ 舞妓さんは一畳の広さ(90cm X 180cm)で舞う。
- ◆ 京都は学生の街、大学数 49 学生数 16 万人。

関東インバウンド旅程管理研修 4/5

「資格を持った人ではなく、ほんとに旅程管理ができるガイドさんが必要とされています」という旅行会社からの要望に応えるべく旅行業法の基本から始まって、ユーモアも交えながら金子講師の講義が続きました。旅行の種類、基本動作、各種乗物利用時、宿泊の際の作業など初めて聞く多岐に渡った作業内容に、戸惑いを感じた新人も少なくありません。しかし、知識を学んだ後の実習ではメキメキ慣れてゆくのを感じさせる受講者達はさすがでした。

午後の後半は、ランデル講師と松岡講師によるケーススタディ。病気、事故、死亡時の対応、文化の違いによる旅程管理のしかたの注意があり、食事サービスの時間配分も国によって変えるべしという指摘もありました。



参加者の感想

- ① 実践的な内容なので、受講して良かったです。GICSS さんの研修は、大変役に立つことばかりで、実際のガイドですぐに使えることばかりなので、必ず復習します。最後の先生方のお話が驚くことばかりでした。(T.K)
- ② 初めて聞くこと、知ることばかりで大変勉強になりました。実際の経験に基づいた具体的な事例を多く話して下さい、とてもわかりやすかったです。何でもどこまでも確認が重要だという点とツアーのガイドをしながら、翌日の確認をしなければいけない点を学びました。(Y.H)
- ③ とてもわかりやすい講義でした。現場に出る前に心配だったことはほぼ解決。1 日参加してよかったと思います。ケーススタディもとても興味深く聞かせて頂きました。(M.H)
- ④ 添乗員として様々な細かいところまでの対応や知識、そして確認の連続とやるべきことが、ガイド作業に加えて多く、自分にできるか不安が大変参考になった。又、緊急時等その時の判断の難しさを感じた。失敗談を含め状況をイメージして添乗業務を学ぶことができた。(Y.F)

仕事のキャリア・ロードマップ 説明会開催

3/24、4/24

多くの要望に応えた説明会で、新人研修会の修了者達からは「知ることが分かり役に立った!」と好評でした。

- (1) 新人研修後の発展モデル例紹介
 - (2) 発注・受注のしくみ
 - (3) 派遣会社利用のメリット、デメリット
 - (4) ランデルズの扱う業務と募集中業務のご紹介
 - (5) 営業・就業中の注意事項
- 「コレで失敗! しないよう…」※ビジネス倫理の徹底
Q&A 個別相談

まずは新人研修後の進路について、どんな仕事の種類があり、どのような適性が望まれ、どのような発展段階を経るのが紹介されました。

派遣の仕組みやビジネスルールについては、ガイド派遣会社である(株)ランデルズ担当者より詳細説明があり、業務交信における注意、直近のクレームやトラブルの実例と解説がありました。

- ・メールでの名前はフルネームを書くべき?
- ・領収書をもらい忘れた場合はどうする?
- ・業務終了報告の電話代は請求するのか?
- ・ツアーフリータイム日にボランティアでガイドして良いのか?
- ・ツアー詳細は直前にならないとわからないのでしつこく聞かない。

などなど、現実的なアドバイスに受講者は熱心に聞き入って、両日とも 2 時間があっという間に過ぎ、参加された中堅者にも役立つ情報でした。

「観光庁「通訳案内士制度見直し検討会」

4 月に第 8 回、6 月 11 日に第 9 回の検討会が開催されました。毎回膨大な資料が準備され、着々と各課題が整理されています。これは資源課の課長が自ら原稿提案と最終確認をして作成されています。第 9 回には、我々通訳ガイドにとって嬉しいニュースが紹介されました。

6 月に発表された政府の「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015」に先立ち、安部首相が和歌山県の高野山と熊野を視察した際に現地の異文化ネットワーク代表者との意見交換で「顧客の満足度を高めるために、ガイドの重要性はわかった」と言及された事です。

政府関係者はもちろん、旅行会社社員でも通訳案内士の存在を知らない人が多い中で、やっと一筋の光があたった感じです。通訳案内士について首相の認識をとりつけられたことは観光庁の配慮と尽力の結果であり、観光庁が通訳ガイドについて本気で取り組む姿勢を感じられて喜ばしい事でありました。

通訳案内士不足への対応策と同時に、初任研修実施への可能性、登録制度や更新時の研修検討などが進んでいます。次回からは通訳案内士の更なる活用促進法について検討予定であり、通訳案内事業を拡大して認める様々な法整備の進展具合とも組み合わせながらではありますが、最終的なまとめが期待されます。

(観光庁検討委員会委員: ランデル洋子)

☆次回のリレーエッセイもお楽しみに! ~会員のご活躍りをご紹介下さい。珍事件、感動秘話、ためになる話...なんでも結構です!

＝編集後記＝ ● 6/1 京都タワーの 3 階に「関西ツーリストインフォメーションセンター京都」がオープンしました。京都へお越しの際はぜひお立ち寄りください。(ひ) ● マナーの乱れにおばさんは不愉快さと憂いがかかります。だいたい、「お名前様」とは何だ! 目上に対して苗字だけで手紙やメールを送る失礼を知らない人が多すぎ! 英語ガイドの XX XX です、と言ってもわかっては誰だかわからない! (よ) ● 大先輩で新人の時も手取り足取りのご指導を頂いた丹野匡章さんの急逝の報に悲しい梅雨時となりました。独特なハリのあるお声で空港で、お客様へご出発時の声掛け、「Happy Landing!」。その言い回し、学ばせていただきました。本当にありがとうございました。(ま)

◆GICSS 研究会 賛助会員&協力会社◆

株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベル
英語ソリューションズ
トップツアー株式会社
株式会社 千代田テクノ
協同組合 京都ハンディクラフトセンター
近畿日本ツーリスト株式会社
欄日本旅行



NPO 法人 GICSS 研究会

〒154-0011 東京都世田谷区上馬 5-20-15-1001 TEL:03-3706-9861(代表)

E-mail: adm@gicss.org URL: http://www.gicss.org